

2018年(平成30年)10月17日

輸送動向について(平成30年9月分)

1. 輸送概況

9月は、平成30年7月豪雨、4日に上陸した台風21号および6日に発生した北海道胆振東部地震等相次ぐ災害の影響により、高速貨1,639本、専貨30本が運休となった(前年は、高速貨177本が運休)。平成30年7月豪雨の影響で不通となっている山陽線について、トラック・船舶による代行輸送のほか伯備線・山陰線・山口線を経由した迂回運転を実施した。また北海道胆振東部地震の影響で不通となった石勝線について、トラックによる代行輸送を実施した。

コンテナは、自動車部品が山陽線不通による影響に加え、北海道胆振東部地震による一部工場の稼働停止も重なり大幅な減送となった。また積合せ貨物、食料工業品、紙・パルプ、化学薬品、化学工業品等は中国・九州地区にて輸送が低調になったほか、農産品・青果物は北海道胆振東部地震の影響を大きく受けた。度重なる災害の影響は全国に波及し、すべての品目で前年を下回った。その結果、コンテナ全体では前年比68.3%となった。

車扱は、石油が9月上旬から価格が高騰したことに伴って買い控え傾向となったため、低調な荷動きとなった。その結果、車扱全体では前年比96.9%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比75.7%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

扱別	種別	月計		前年比	年度累計		前年比
		本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
	コンテナ	1,350	1,978	68.3%	9,268	10,995	84.3%
	車扱	671	693	96.9%	3,976	3,962	100.4%
	合計	2,022	2,671	75.7%	13,245	14,957	88.6%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	153	221	-68	69.3%
	化学工業品	120	181	-61	65.9%
	化学薬品	81	127	-46	64.3%
	食料工業品	229	314	-85	73.0%
	紙・パルプ	199	263	-64	75.8%
	他工業品	93	139	-46	66.8%
	積合せ貨物	160	240	-80	66.7%
	自動車部品	34	76	-42	45.3%
	家電・情報機器	25	40	-15	62.2%
	エコ関連物資	29	43	-14	66.8%
	その他	227	335	-108	67.8%
	コンテナ計	1,350	1,978	-628	68.3%
車扱	石油	430	444	-14	97.0%
	セメント・石灰石	126	126	0	99.9%
	車両	66	68	-2	97.5%
	その他	49	56	-7	88.5%
		車扱計	671	693	-22
	合計	2,022	2,671	-649	75.7%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)